

# Advanced 南薩 一日々前進

## 「主体的・対話的で深い学び」をめざして

### オープンサポート教科フォーラム

8月2日に、指導法改善に取り組む先生方の支援を目的に「オープンサポート教科フォーラム」を開催しました。小、中学校合わせて115名の先生方の参加がありました。今回の「オープンサポート教科フォーラム」では、竹田市教育委員会から3名の講師を招聘し、模擬授業を通じた研修を行いました。竹田市は、平成22年度から市町村と東京大学C o R E Fによる協調学習研究連携「新しい学びプロジェクト」に参加し、協調学習サポート研究推進委員会において、知識構成型ジグソー法による授業を推進しています。



【参加した先生方の感想】

子どもたちが主体的に活動できるということが何よりだと思います。自分の思いを表現し伝えようとする力を育てるために少しずつでも取り入れていけたらなと思いました。“ほかの人と一緒に考えると私の考えはよくなる”という言葉がありました。友達と話し練りあう良さがある活動だと感じました。まさに言語活動だと思いました。

**ここがポイント!** ☆ 自分の言葉で説明したり他人の説明に耳を傾けたり、わかろうとして自分の考えを変えたりといった、一連の活動を繰り返すことで考え方や学び方そのものが学べる。  
☆ 子ども一人ひとりが主体となって学びながら、他者との関わりを通じて自分の考えをよくしていく。  
◇ 教頭研修会で、模擬授業の授業プラン（算数「分数のわり算」）を紹介しましたので御参照ください。

#### 知識構成型ジグソー法の流れ

- ① 問いを設定する。
- ② 自分のわかっていることを意識化する。
- ③ エキスパート活動で専門家になる。
- ④ ジグソー活動で交換・統合する。
- ⑤ クロストークで発表し、表現をみつける。
- ⑥ 一人に戻る。



話し合いで、どうしても積極的に参加できない子どもがいるが、協調学習を用いれば、全員が何かしらの考えを持って参加しなければならないので、ぜひ実践していきたいと思った。

対話を通しての学びは、子どもたちに主体的な学びを引き出すと改めて感じることでした。

## 第2回地区教頭研修会から

地区教頭研修会でも学力向上に係る多くの効果的な取組について議論しました!

- 児童生徒による学び合い、教え合いは大切ですね。
- グループ学習の効率化を図ることは大切ですね。
- ペア、グループ活動で話し合い、伝える力を育成しよう。

- 最も基本的なことを大切にすることが学力向上につながりますね。
- 振り返り活動の時間を確保することは大切ですね。
- 家庭学習を充実させることは大切ですね。



- 課題をしっかりと把握してみんなで解決に取り組むことは大切ですね。
- 共通実践事項を確認し授業に取り組むことが大切ですね。
- 家庭との連携を図ることが大切ですね。

- ICT機器やホワイトボードを活用して、子どもの考えを可視化できるといいですね。
- 個別指導を充実させることが大切ですね。
- 読書活動を充実させることは大切ですね。

**まずは、先生方が、アクティブ・ラーナー(主体的な学習者)に!**

# 運動会・体育大会での児童生徒の躍動に感動！体力の向上・気力の充実 〈チーム学校！児童生徒の力・教職員の力・保護者の力・地域の力〉

※体育祭・体育大会・運動会、晴天の中無事終了！

☆命を守る・心を守る

- 9月10日(土) 高校体育祭
- 9月11日(日) 4市中学校
- 9月18日(日) 坊津学園・神殿小学校・颯娃中学校
- 9月25日(日) 枕崎市・南九州市小学校・利永小学校
- 10月2日(日) 指宿市・南さつま市小学校・知覧小学校

☆小学生・中学生のパワー 天まで届け 我が声！



様々な安全対策が各校で見られました。安全に配慮した計画・練習・環境づくりがあったからこそ児童生徒の喜び！！

☆みんなで目標に向かって、エイエイオー、やったー！



この姿こそが醍醐味、たくましさの証



☆がんばれー！君は一人じゃない！みんなで応援 支え合い



【テント席からのがんばれー！】

【心をひとつに！】

【学級旗】

【地域の支え、恩返し】

【保護者の支え、親子で記念写真】

☆みんなのために力を注ぐ！

役員をはじめ、種目一つ一つに力一杯、精一杯のキラキラした姿、まぶしい！



【役員紹介】

全員の心がまとまった一日。たくさんの学校でたくさんの笑顔や喜びがあふれていました。この姿は宝物です！

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間取組紹介①

枕崎市立別府小学校

「伸びゆくお茶の里 別府 ～お茶の入れ方教室～」

11月4日(金)に、「鹿児島県茶業青年の会枕崎支部」の方々に学校に来ていただき、5年生がおいしいお茶の入れ方について学習します。

子どもたちは、別府の特産物であるお茶について興味・関心をもっており、家でもお茶を飲む機会は多くあります。しかし、自分で入れて飲むという経験は少ないので、「お茶の入れ方教室」は大変よい学習の機会になります。



青年の会の方からお茶の特質やお茶の木の育て方などについて説明を受けた後、グループに分かれて実際にお茶の入れ方について体験させていただきました。おいしいお茶を入れるために、お湯の温度や蒸らす時間などに注意しながら、一人一人が試行錯誤しながら体験します。

昨年度も実施しましたが、自分で入れたお茶の味は格別なようで、どの子どもも笑顔で「おいしい」と言いながら飲んでいました。「家に帰ってお父さんやお母さんにお茶を入れてみる。」と笑顔で感想を発表する子どもの姿が印象的でした。

別府の特産物であるお茶について、子どもたちは青年の会の方から直接学ぶことで、ふるさと別府の良さを改めて知ることができます。今後も子どもたちに別府や枕崎の良さを伝える取組を地域の方々の協力を得ながら実践していきます。

## 県民の教職員の不祥事に対する厳しい目

- ・ 教職員の不祥事は、いつまで待てば根絶できるのか。
- ・ 根絶できない理由は、なまぬるい懲戒規定にある。
- ・ 教師は、人の何倍もの使命感や倫理観、人権感覚が求められる。自分を律することのできない者は、教壇に立つ資格がない。(新聞投稿欄から)

- ※ 自覚していますか？ 県民の厳しい目を
- ※ 理解していますか？ 児童生徒・保護者・県民の悲しみを

一部の教職員の不祥事が、全体のイメージになっています。大部分の教職員は、真面目に頑張っています。あなたは、どちらの側にたちますか。

絶対に許されません！(非常事態)  
飲酒運転及び速度超過等の交通法令違反

思っていませんか：「自分には関係ない。」「他人ごとだ。」

教職員一人一人に厳しい自覚が求められています。

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間取組紹介②

指宿市立池田小学校

「選挙を学び、未来を知ろう」

選挙権が18歳に引き下げられた今、早い段階で「主権者教育」を学ぶことは、とても大切だと言われています。

指宿市では、青年会議所が市内の小中学校で選挙体験活動のサポートを行っています。本校でも、11月12日(土)3校時に、5・6年生とその保護者を対象に、社会科の学習の一環として選挙体験活動を行います。この活動を通して、未来を担う子どもたちに、政治を身近なものとして捉えさせ、将来、自分の考えをもって進んで投票し、積極的に政治に参加する気持ちを育てます。

活動内容は、民主主義について、身近なテーマを通して学んだり、立候補者に見立てた教職員の演説を聞いて、自分の意見や考えに近い立候補者に投票したりする活動を予定しています。

当日は自由参観日になっておりますので、多くの方に子どもたちの学ぶ姿を見ていただき、ご意見、ご感想をいただけるとうれしいです。

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間取組紹介③

南九州市立高田小学校

「私たちが作った野菜料理を召し上げれ  
～『たかたかがやきフェスタ』の取組～」

平成13年から11月に地域と協力して、「たかたかがやきフェスタ」を開催しています。高田校区では、水田の転作が多くなり休耕田が増加してきたので、農業振興のため「たかたドリーム(集落営農)」がスタートしました。水田での大豆栽培など多角的集団農業経営を進めていく一環として、「子どもたちの農業に対する関心を高めよう」という願いから、地域全体の収穫祭を行うようになりました。

本校区では、年間を通して食農教育を充実させていくために、総合的な学習の時間や毎月第3日曜日に実施する「高田三世代塾」でも、食農教育に関わる活動を行っています。地域の指導者の下、大豆、ソバ、水稲、サツマイモ、夏野菜などを栽培・収穫し、親子で調理したものを、「かがやきフェスタ」で地域の方々へふるまうのが、高田の食農教育の大きな流れです。

平成27年度のフェスタでは、あいにくの雨で、昔の農具を使った農業体験は中止でしたが、準備した400食あまりはあっという間になくなりました。その後、学年ごとに、栽培の様子をスピーチやプレゼンテーションソフトを使って、お客さんに発表しました。地域の方々で充実した一日を過ごすことができました。

児童数や住民の減少で、以前のような大がかりなフェスタが難しくなってきましたが、地域と協力して、新しい時代の「かがやきフェスタ」をこれからも続けていきたいと思ひます。



～特色ある取組が子どもや保護者、地域に笑顔をもたらします～